

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員からの意見を元に話し合いグループホーム大山崎の理念を作っている。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングやカンファレンス等で理念の実践について話し合い、再確認を行うようにしている。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	機会あるごとに家族協力により自宅に帰られ過ごす時間を大切にしている。	○ 地域の方に対して理解して頂く為の具体的な方法を考えてゆく。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩等の際、出会った近隣の方には積極的にこちらから声をかける。	○ 挨拶以外の会話に発展させるようにし、顔なじみの関係を作ってゆきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入ることは出来ていないが、子供会の古紙回収に協力したり、近隣小学校運動会に招かれ訪問している	○ 民生委員さんや社会福祉協議会の方々にも働きかけ、お願いをし交流を少しでも増やしてゆけるようにしてゆきたい。

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホームに関わって頂いている方については常に会話から様子を観察している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価を行う事により改めて日々の運営、ケアを見直すことが出来た。	○	
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	役場の方、民生委員、地域包括支援センター、家人様の方々の参加により率直なご意見を頂き、要望等についても改善に向け努力を行っている。	○	グループホームだけでは手に入らない地域情報を入手してゆきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	きていただくだけでなくグループホームからも訪問し、連携を持つようにしている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている利用者様もおられ、一通り知る事が出来た。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護事業部からの資料をもとに勉強会を行い、防止の周知徹底を図っている。	○	今後も定期的に勉強会を行い虐待防止についての周知徹底を図ってゆく。

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に家族様等に説明を行う事で納得して頂いた上で入居して頂いている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の意見、希望、苦情等を見逃さないように注意を払っている。又、所定の用紙に記入し、対応について話し合うようにしている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時に様子についてはこまめに報告している。又、体調等の変化、往診の結果についてはその都度電話連絡等で連絡し報告している。金銭については毎月報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見を頂いた時点で所定用紙に記入したり、ミーティングえ話し合う事も含め早急に対応するようにしている。又、玄関に意見箱を設置している。</p>	<p>○ 意見が言いやすいよう日頃からコミュニケーションをとることを大切にしている。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的にミーティングや意見交換の機会をもうけている。</p>	<p>○ 遠慮することなく話してもらいような雰囲気を作るよう心がける。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要に応じて勤務を組んだり、勤務変更や残業、呼び出し等にて対応している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>一度に入れ替えとならないように配慮している。又、1、2F職員共に利用者の顔なじみとなるように常にコミュニケーションを持つようにしている。</p>	

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画により内部、外部の研修に参加するようにしている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全老施協、府老協に入会し、訪設の情報交換、研修会、勉強会などに出席している。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	洛和会ヘルスケアシステム、EAP相談室を活用している。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者による年2回の個人面談を実施。本人の希望など自主申告に基づいて把握している。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	介護支援部入居相談担当者が説明、相談に応じている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にホーム見学にきていただいたり、連絡をとり又、入居担当が相談にのることで不安を受け止めている。	

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々なサービスについて説明し、どのサービス提供が支援としてよいのか共に考え対応している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族の思い、希望を把握してご本人、家族と相談等行っている。	○	ホームでの生活に慣れる為、家で生活していた事を基本にして徐々にホームの生活に溶け込んでいってもらう様努めている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で利用者様の得意な事を見極め、自信を持って頂けるようにしている。又、自信をなくされるような時は、さりげない援助により自信をなくされないように注意している。	○	一緒に過ごす時間をもっと増やし、コミュニケーションをとり、支え合う関係を築く様努力している。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	健康や本人の生活状況を常にお知らせしている。	○	家族様と職員の信頼関係をもっとより良いものに築いてゆきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	定期的に来設して頂く為、受診、買い物等はなるべく家族様に依頼しています。	○	年に1~2回家族との関係をよりよくする為、食事会等を催しています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中で馴染みの人、場所などを言葉にして話している。	○	馴染みの人場所・・・会う機会や場所に訪れる機会もなかなか作れない為、今後取り組んでゆきたい課題の一つである。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士、家事や散歩、レクリエーションを一緒に行ったりして助け合う心をもってもらう。	○	職員、ボランティアによる喫茶店は利用者様にも好評で、コミュニケーションの場としてもとても関わりが出来て良い。今後も継続してゆきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用者が終了してしまうと自然に会う機会が無い為、付き合いをする事が無い関係になってしまう。ただし特養等に入られたとき、入院等されている方は面会に出向いたりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや暮らし方を個々に引き出すよう努めている。		プロセスレコードを作成して思いや意向を引き出すよう取り組んでいる。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活歴や馴染みの暮らし方はセンター方式を取り入れ把握している。	○	一人一人の生活歴馴染みの暮らしから行きたい所したい事、好きな事等を把握して実行していく様取り組みを行っている。コンサート参加等行っている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日を活動的に過ごしてもらう為に、体操、散歩、家事、買い物等ご本人に合わせ行っている。	○	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランを3ヶ月毎に立ててサービス提供を行うためにカンファレンスを行っている。ご本人や家族にもケアプランの説明を行い意見やアイデアを反映している。	○	カンファレンス、事例検討等を行い、より良い介護計画を目標に取り組んでいる。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランを3ヶ月毎に見直すだけでなく入院や状況変化があった時はその都度カンファレンスを行いプランを変更している。	○	

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づいたサービスの提供や状況変化や		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族様に御願ひしている受診や買い物等、ホーム職員が代わりに対応する事も多い。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、アートセラピー、消防訓練等、協力しながら支援行っている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在その様な例は無いが必要とあれば支援できるように地域のケアマネジャーなどと相談する。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に一回の運営推進会議にて地域の方々との意見交換の場を設けている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望をにより、月に2回往診して頂き、納得のいく医療を受けている。		

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	訪問看護と職員との連携も密で小さな事でも相談して指示を仰いでいる。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	今後該当者が出てこられた時には医師、看護師、家族職員で話し合っ
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	今後、利用者様の状態により話し合い取り組んでゆきたい。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		家族に説明行い理解していただいた上で別の場所を知りえた上で住み替えを行う事もある。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	1人一人の人格を尊重し、利用者の私的に関する事には配慮した言葉掛けや対応を行っている。カルテ等の個人情報については事務所に管理をしている。	○ 職員間でも個人情報に関する取扱いは周知徹底してゆく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	各利用者が様々な場面で自己決定できるよう働きかけたり、認知症が進行し、自己決定が困難な場合でも本人の思いをくみとったりして対応している。	○ 利用者が希望などを遠慮なく話せる雰囲気作りを心がけている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支援している。	○ 全職員が利用者の生活歴を把握してその人らしい暮らし、生活を支援できるよう声掛けや対応を心がけてゆく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容は本人、家族の希望に合わせており地域の美容院を希望されている方は支援している。身だしなみは注意を払いきれない方は適宜介助し必要に応じておしゃれを楽しんで頂く。	○ 清潔、整容等日頃の身だしなみは常に快適に過ごせる為に注意を払っている。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを考慮し、献立、食材選びを行い出来る方は、簡単な調理や盛り付けを共に行っている。	○ 一緒に食材選びの為に買い物へ行く機会をつくり、旬の素材を使用してゆきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者によっては居室に冷蔵庫を持っておられ嗜好品を食されている。生の物はホームで預かり、本人に提供している事もある。	○ お正月や行事には、希望される方についてお酒、ビール等を提供し、楽しみを持ってもらってゆきたい。今後晩酌希望ある時は適宜対応してゆきたい。

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その方に合った対応を行い、誘導を要する方には適宜行っている。介助の必要な方は清拭を行い、汚染の無い様適宜交換、清潔を保つよう支援している。	○	ケアプランに取り入れて職員間で統一したケアが出来るよう行う。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を見ながら希望にあわせて入浴をして頂き、湯加減も1人1人に合わせて、ゆっくりくつろげるよう支援している。	○	入浴時、季節の行事として、菖蒲湯やゆず湯等を提供し楽しんで頂いている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人入眠時間が違うがその方に合ったペースを大切にしている。	○	日中活動的に過ごしていただき夜間安眠できるように心がけている。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理や盛り付け、洗濯物たたみや干しなど家事参加を行い、生け花や編物、裁縫など得意な方、利用者の特徴に合わせて楽しみ方、役割が持てるよう支援している。	○	利用者のニーズに出来る限り添える様、全職員が一人一人の生活歴を知り、その場面に提供して行く。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者によっては現金を所持されており、個人の財布にて支払いされ買い物を楽しまれている方もおられる。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物喫茶等に誘い、外出の機会を持っていただくよう支援している。	○	気分転換になるため外出の機会を増やしてゆきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者と家族が共に外出される事もあり、家族様の協力を得て機会を作って頂き、家族との交流を支援している。	○	今年度の年間行事の予定の中に各利用者のしてみたい事、行ってみたい所の希望を聞き、個別に外出の計画を予定している。

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の了解を頂き、適宜電話を掛けてもらえるよう支援している。	○	年賀状などの季節のはがきを利用者が手作りで作成した物で、出せるよう支援してゆく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	定期的に家族、知人等が訪問。居室やリビングにて過ごされる。	○	訪問しやすい雰囲気を作り、利用者の日々の様子や変化を伝え、より良い関係が保てるよう支援してゆく。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては一切行わないケアをしている。	○	今後も定期的に勉強会を行い周知徹底してゆく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をしておらず自由に出入りできる。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	適宜所在確認を行っている。夜間も0時、3時、6時に安否確認を行っている。	○	認知症が進み離設される利用者様には常に見守り、転倒のリスクも踏まえ職員間で注意してゆく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	トイレ内の洗剤や刃物等は目の届かない所に保管している。	○	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各利用者の状態、認知症を把握し常に見守り事故を防げるよう取り組んでいる。	○	各利用者の日々の状態を把握し、職員間の報告、連絡、を大切にし安全に生活できるよう取り組んでゆく。研修や勉強会など積極的に参加し知識を得る。

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	二年に一回以上全職員が救急救命講習を受講している。利用者の急変時に対応出来るようマニュアルを作っている。	○	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2ヶ月に1回消防訓練を行っている。	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	必要に応じたり、3ヶ月に1度のケアプラン更新時に状況を説明している。	○	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	些細な変化や異変時、介護記録連絡ノートに記載、申し送りをする等職員で情報を共有している。状況悪化時は緊急受診している。	○	体調や精神状態の変化時はカンファレンス等を行い、必要な場合は受診をしている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の勉強会をしたり処方内容、用量が変更になった時は、申し送り、介護記録、連絡ノートに記入し情報を共有している。	○	服薬時は飲み込むまで側で確認し飲み込みの悪い方についてはトロミをつけたり工夫をして飲んでもらっている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操や散歩等身体を動かす事で腸の蠕動運動を促したり、水分をこまめに補給してもらっている。朝食時にはヨーグルトを提供しスムーズな排便を促している。	○	排便困難時は医師、看護師相談し便薬を処方してもらい、排便の調整をする。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	月、水、金に義歯洗浄剤につけ義歯の汚れや臭いの予防に努め、洗いきれていない場合は職員が介助し清潔保持する。		介護者、自立者を含め、起床時、就寝時のみにとどまり、毎食後の促しや介助が出来ていない。今後の声掛けや実施必要。

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に合わせ量の調節や食材の大きさ、ミキサー等状況に応じ工夫し提供している。	○	脱水になりやすい方、水分制限の必要な方には職員が常に把握する為、水分チェックシートに日々記載しているが他利用者についてもその都度必要になれば実施してゆく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがあり全職員が把握し対応している。	○	定期的に勉強会を行ったり、新しい情報等の資料は回覧する。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に台所の整理や清潔に努めている。調理用具は毎回遅出者が帰る前にハイター消毒を行う。	○	冷蔵庫内、食品棚の食材すべてにおいて賞味期限の確認や保管状態を配慮し、正しく管理する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前やスロープに花を植えたりガーデニングスペースを造り明るく親しみやすいホーム作りに努めている。		花が枯れていたり、笹の落ち葉が散乱していないように気を配る。利用者様と共に清掃し、玄関前や内側に物を雑然と置かないように常にきれいな状況を心がけている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの照明をやわらかな光の電球にかえている。ダンスやソファ観葉植物等を配置し食堂とくつろぎスペースとを区別している。		季節の生花を利用者様と共に生け、その時々々の季節を感じてもらっている。浴室が生活観の無い入浴するだけのスペースに感じられるので工夫する。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	そのときの気分に応じ、居室でのんびりと過ごしてもらったり、リビングのソファや食卓で利用者同士で会話を楽しんでもらえるようなスペース作りに努めている。	○	気分転換に2Fサンルーム、1Fガーデンスペースとそれぞれ思い思いに過ごしてもらっている。

洛和グループホーム大山崎(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使われていた馴染みの物や家具等を持ち込んでもらいながら転倒しないような配置を工夫し、自分の居場所作りを援助している。	○	不要になった物は家族様にもちかえってもらったり、必要な物はその都度依頼し、その方の状況に応じ対応している。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇を回したり日中は窓や扉を開放し空気の循環をしています。温度は季節に応じ空調調節します。	○	リビングだけでなく、各利用者様の居室についても同様に行っている。利用者様の体感状態もちがうのでその方に応じ対応している。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の導線に物を置かない様、手すりの無い所はダンス等で支え歩けるように工夫している。		1階から2階へ昇降する階段はコンクリートで転倒時はかなり危険なので職員が付き添い、安全に努める。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各利用者様それぞれの力を把握し、混乱されないように配慮し、関わっている。失敗を未然に防げるようさりげなく援助している。	○	他利用者様が介入する事により、混乱を引き起こす事があるがお互いの自尊心を傷つけないような関わり、言葉掛けを行い、状況に応じ、臨機応変に対応したい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日はベランダに植木鉢をだしてみずやりや手入れをしてもらっている。ほうきで掃除したり布団、洗濯物干しを行っている。		特定の利用者様だけの利用になっているので、出来るだけ多くの利用者様と利用、活動が出来るようにする。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

洛和グループホーム大山崎(2階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

お1人お1人に合わせた、その人らしく生活して頂くように心掛けています。 ADLの状態ニーズをしっかりと把握するように努力しています。お食事・・・季節を取り入れながらその方にあわせた携帯で提供しています。 外出・・・歩行状況に合わせてながらご希望を叶えられるように対応しています。